

成果の説明書

(氏名) 西野寿章	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
【研究成果】	
(1)図書 西野寿章(2016):「日本蚕糸業研究の足跡」, 高崎経済大学地域科学研究所編『富岡製糸場と群馬県の蚕糸業』所収, 日本経済評論社, pp.23-46.	
(2)論文 西野寿章(2016):「戦後の群馬県における蚕糸業の衰退と山村の限界化問題」, 産業研究(高崎経済大学地域科学研究所紀要)51-1・2 合併号, pp.3-26.	
(3)その他 1)西野寿章(2015):「山村問題への地理学的アプローチ」(フォーラム), 経済地理学年報 61-2, pp.48-52.	
2)西野寿章(2015):書評・中藤康俊『日本経済と過疎地域の再生』 経済地理学年報 61-3, pp.62-64.	
3)西野寿章(2015):第 1 回基調講演要旨「鉄道, 乗り物好きが歩んできた研究の道と趣味の道」, 法政地理 48, pp.92-97.	
(4)学会発表 西野寿章(2015):「農産物直売所の展開による地域農業の持続可能性－日本農業の存続・成長戦略に関する地理学的研究(その 3)－」, 日本地理学会秋季学術大会(愛媛大学).	
【学外研究費獲得状況】	
1)日本学術振興会科学研究費基盤研究(C)「戦後の山村における電力空白地域の配電過程に関する地理学的研究」(平成 25 年度～27 年度, 研究代表者・西野寿章).	
2)日本学術振興会科学研究費基盤研究(C)「日本農業の存続・成長戦略に関する地域動態的研究」(平成 26 年度～28 年度, 研究代表者・筑波大学・田林 明名誉教授).	
3)日本学術振興会科学研究費基盤研究(A)「中山間地域における林業合理化・森林管理・住民生活の為のマネジメント=モデルの構築」(平成 26～30 年度, 研究代表者・大阪大学大学院文学研究科・堤 研二教授).	
4)日本学術振興会科学研究費基盤研究(B)「集团的林野経営の歴史的変遷と今日的課題に関する地理学的研究」(平成 27～29 年度, 研究代表者・明治大商学部・中川秀一教授).	
5)日本学術振興会科学研究費萌芽的挑戦研究「共有林の保護・再生と中山間地域の人口流出抑制・人口流入」(平成 27～29 年度, 研究代表者・高崎経済大学地域政策学部・金光寛之准教授).	
6)サントリー文化財団研究助成プロジェクト「再生可能エネルギーによる地域再生の人文社会科学的解明, 知見の国際移転, そして理論と実践の相互作用による人的ネットワーク形成」(2015～2016 年, 研究代表者・京都大学大学院経済学研究科・諸富 徹教授).	
【教育成果】	
【講義】 担当講義の学生評価は, 農村地理学 89.2 点, 観光地理学 90.4 点, 地域振興論 92.9 点であった。2014 年度より総合評価点は上昇したが, 履修者が関心を持って授業に参加してくれるように, 多くの履修者に質問を投げかけ, 参加型授業となるように工夫したい。	
【演習】 担当している演習 I (3 年生)では, 2014 年度までの過疎山村研究から, 観光に特化した過疎山村の研究に転換し, 2015 年度は元祖伝建の長野県南木曾町・妻籠宿の歴史と現状について, 妻籠宿を愛する会, 観光協会, 南木曾町役場の協力を得て研究し『過疎山村における内発的	

地域振興の成果と課題―長野県南木曾町・妻籠宿を事例として―』を2016年3月15日に刊行した。演習Ⅱ(4年生)は、全員が就職先を決め、卒業論文を提出して、揃って卒業した。

【大学院】平成27年度は博士課程1名が在籍し、地理空間学会(6月20日、筑波大学)、日本地域政策学会(7月10日、明治大学)、群馬地理学会(11月1日、前橋市文化センター)で行った発表への指導、発表後の論文作成の指導を行い、年度内に1本の査読論文の受理が決定した。

【社会的活動】平成27年度に学外で担当した委員等、社会的活動は次の通りである。

【学会関係】

1)日本地理学会・E-journal GEO 編集委員会委員, 2)人文地理学会・学会賞候補者選考委員会委員長(一般図書部門 2016.1～), 3)経済地理学会・評議員, 4)群馬地理学会・庶務委員長。

【行政関係】

1)林野庁関東森林局国有林管理審議委員会委員, 2)群馬県・ぐんま緑の県民税評価検証委員会委員長, 3)群馬県・中山間地域総合検討委員会委員, 4)群馬県・公共事業再評価委員会委員, 5)群馬県教育文化事業団・ぐんま伝承文化継承委員会委員, 6)群馬県埋蔵文化財調査事業団評議員, 7)群馬県森林・緑整備基金評議員, 8)高崎市市有林管理委員会副委員長, 9)日本学術振興会・科学研究費委員会専門委員(2014年12月～2015年11月), 10)群馬県過疎山村地域計画策定委員会委員長, 11)群馬県高山村まち・ひと・しごと創成総合戦略検討委員会委員長, 12)群馬県嬭恋村総合戦略策定委員会副委員長。

【シンポジウム・講演・講師等】

1)法政大学地理学会第1回例会シンポジウム基調講演(2015.7.23)
2)群馬県立嬭恋高等学校創立63周年記念講演会講師(2015.10.25)
3)上毛新聞社「TOMIOKA 世界遺産会議」講師(2015.11.29)

2 その他の事項

- ・平成27年度に発足した地域科学研究所長に任命され、新規発足した研究所の事業計画の企画立案を行った。また、研究所発足記念研究プロジェクト『富岡製糸場と群馬の蚕糸業』の担当者として、事業を推進し、成果の刊行と研究報告会を行った。加えて2014年度から進めている旧産業研究所「群馬県における製造業の現状に関する研究」プロジェクトを進行した。
- ・研究では、科研費5件、民間研究助成1件の6件の研究を同時並行的に進めてきた。この内、代表研究は2015年9月に渡米して外国調査を実施し、研究期間を終えた。研究成果については、順次、学会で報告を行い、論文として発表する。
- ・本学奨励研究・重点研究「信越本線新駅設置可能性調査」の研究代表者としてコーディネートして、調査研究を進めた。最終まとめは、2016年7月までにまとめる予定となっている。

3 次年度の研究計画

- ・2015年度から開始した観光に特化した過疎山村の研究を引き続きゼミナール生と行う。
- ・2015年度で終了した研究代表の科学研究費の研究成果を整理し、研究発表の準備を進める。
- ・地域科学研究所研究プロジェクト「(仮)オンリーワンの集まる高崎市のものづくりの歩みと現状」の最終年に当たり、研究と成果をまとめるためのコーディネートを進める。
- ・4本の科学研究費研究と1本の民間研究費の研究についても、それぞれの研究テーマに沿って研究を推進する。